

\*\*\*\*\*

## 日本看護系学会協議会ニュースレター速報

2019年2月9日配信 (2018. vol. 4)

\*\*\*\*\*

ニュースレター速報 (vol. 4) では、2019年1月14日 (月) に、日本赤十字看護大学にて開催されました第7回理事会での報告・審議事項の一部をご紹介します。また、3月10日 (日) の午後、「マスタープラン (2020) 説明・意見交換会」と「ケアガイドライン開発に関する APN 実践推進プロジェクト」を企画致しました。詳細は、以下の2および3をご覧ください。

### 1. 「日本看護系学会協議会の日本医療安全調査機構への貢献と今後の課題」(第38回日本看護科学学会学術集会時に開催)

佐藤理事より、発表内容と質疑応答、今後の課題等について報告があった。ニュースレター速報 (Vol. 3) (<http://www.jana-office.com/letter/index.html>) で詳細を報告しているため、参照頂きたい。

### 2. マスタープラン (2020) について

日本学術会議から「第24期学術の大型実施計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針」(<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-24-h181206.pdf>) が平成30年12月6日に報告されたことが、小松理事から報告された。

マスタープランは、「科学者コミュニティの代表としての日本学術会議が、各学術分野が必要とする、学術的意義の高い大型研究計画を網羅し体系化することにより、ひいては学術の発展に寄与するとともに、学術の方向性に重要な役割を果たす我が国の大型研究計画のあり方について一定の方針を与えることをめざして策定するもの」とされる。

第24期のマスタープラン(「マスタープラン(2020)」)の提案は、第23期マスタープラン(「マスタープラン(2017)」)を踏襲し、実施期間5-10年程度、総額数十億円超の予算規模を有する大規模研究計画を、公募によって受け付ける。公募は2月~3月であり、提案者は、研究・教育機関長または部局長、学術会議会員・連携会員、学協会長などとされている([http://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/kenkyukeikaku/oogata\\_koubo.html](http://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/kenkyukeikaku/oogata_koubo.html))。

看護学分科会では、「ケアサイエンス」をキーワードとし、関連領域とも共同して取り組む大型研究計画(案)を検討しており、日本学術会議第二部健康・生活科学委員会に承認を得て提案する予定である。看護学領域はこれまで提案していないため、新規の申請となる。この計画(案)をもとに、マスタープラン(2020)に関する説明・意見交換会を、社員学会向けに行うことが検討され、以下の日程で開催することとなった。別送のフライヤーも確認頂きたい。

[日時: 3月10日(日) 13:30~14:50]

### 3. APN 実践推進プロジェクトについて

本田理事より、本プロジェクトにおいて、次の2つの企画が提案され、審議された。議論の結果、「ケアガイドライン」の開発に関するアンケート調査を実施することとなった。

この結果は、次のセミナー企画に活かしていく予定である。

ガイドライン開発に関するセミナーの企画が検討された。ガイドライン開発に関わった経験者に、開発までの思考錯誤のプロセス、および他学会との連携の仕方について話題提供をしてもらうこととなった。セミナー日程は、次の通りである。別送のフライヤーでも内容を確認頂きたい。

[3月10日(日) 15:00~17:00]

#### 4. 日本学術会議主催学術フォーラム 第7回防災学術連携シンポジウム

「平成30年夏に複合的に連続発生した自然災害と学会調査報告」

山本理事より、第7回防災学術連携シンポジウムが開催されることが報告された。本シンポジウムでは、日本看護系学会協議会社員学会である日本公衆衛生看護学会、日本災害看護学会、日本赤十字看護学会、ならびに日本看護系学会協議会の4学協会が発表予定である。

日時：平成31年3月12日(火) 10:00~17:30

場所：日本学術会議講堂

#### 5. 社員学会へのアンケート調査結果の報告と今後の取り組みについて

「JANAとして必要な活動」に関する社員学会へのアンケート結果を踏まえ、各事業担当理事が次年度の事業にどのように反映させていくのかが提案・議論された。本件については、次回の理事会においても検討の継続をし、検討結果は次年度の活動に反映させる予定である。

\*\*\*\*\*

まだまだ寒い日が続き、インフルエンザ予防にも務めておられる頃と思いますが、立春を迎え、少しずつ春を感じるこの頃です。本年度の活動の成果が、次年度に実を結びますことを期待しております。

日本看護系学会協議会

ニュースレター担当理事 西村ユミ（首都大学東京）